

安田そうへい

志通信



34歳 人づくりの
島を目指して

第9号

皆様、明けましておめでとございます。昨年も大変お世話になりました。本当に有難うございました。本年もさらに活動に磨きをかけていく所存です。

昨年は、奄美群島日本復帰60周年という節目であつたと同時に、今後の奄美を考える上でも大きな「変化の予兆」が感じられた年でした。26年度の奄振予算では21億円以上の新しい交付金が創設され、本土への輸送コストや航路・航空路運賃の低減が図られることとなりました。ついに、大き

なチャンスが到来したのです！

これを生かすも殺すも地元次第。今年も奄美市の最大の課題は「経済活性化」でありますが、キーワードは「中身の充実」と「生活の質の向上」ではないかと考えております。これからは益々、地元発意の動きが求められる時代になるでしょう。頑張った地域が報われる新しい時代の奄美を目指して、皆様ともに進んで参りましょう。ご指導のほど、よろしくお願い致します。

安田そうへい



そうへいの議会トピックス

直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします。

1 平成25年第4回定例会（12月定例会）における主な議案等です

- 25年度一般会計補正予算第3号：合計5.7億円⇒結果、25年度一般会計総額は324億円。本補正予算の主な内容は、
- ①基金積立金1.6億円
- ②障がい者福祉介護給付等事業費1.6億円
- ③県道佐仁赤木名線（笠利庁舎前周辺）上の建物調査・河川改修5千万円：財源不足等の理由により中断していた鹿児島県の道路整備事業の一部を、奄美市が代行するので、具体的には山側の歩道を整備する。市にかかる事業費総額は約4億円で、27年度完了予定
- ④和瀬漁港整備2千万円
- ⑤赤木名小体育館移転のための用地購入費2千万円
- ⑥緊急経済対策事業18百万円：名瀬地区の農地水路保全、笠利地区の肉用牛集合同地通路舗装改修、農林産物集荷車購入、小湊漁港管理道路改修
- ⑦電気料金の増額約12百万円
- ⑧大島袖共同のり張場改修事業補助金7百万円：名瀬安勝町の共同のり張場施設を本場奄美大島袖協同組合に譲与することに伴うもの
- ⑨緊急雇用創出臨時特例基金事業4百万円：「医療機関」保守・サポート人材育成事業と幼稚園「運動遊び」指導員派遣事業で、合計4名の新規雇用を見込む、等々
- 国民健康保険事業・公共下水道事業等5特別会計の補正予算
- 指定管理者の指定（三儀山の農林産物直売所）
- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担

制度2分の1復元をはかるための意見書採択の請願 ⇒ 採択となりました。

●「県民の安全が担保されない拙速な川内原発1・2号機の再稼働を認めない意見書」の採択を求める陳情 ⇒ 継続審査となりました。

2 議会内の人事が変わりました

●議長に竹田光一氏、副議長に大迫勝史氏が選任されました。

●3つの常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）と議会運営委員会の選任がありました。安田は産業建設委員会と議会運営委員会に所属することになりました。

3 本庁舎建設提言特別委員会について

昨年10月に行われた市民アンケートの回収率は23.8%（2千名中475名が回答）でした。職員アンケートの結果と合わせて重要な意見を抽出し、今年末に基本構想が策定されます。市民の皆様からの意見や情報を求める「パブリックコメント」も行われる予定ですので、ご注視ください。

4 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会について

●昨年8月より計4回の会合を経て、本定例会で中間報告を取りまとめました。自然環境の保全と活用のうち、主に「保全」に重きを置いて①機運の醸成・啓発活動の強化②生物多様性の保全③ノイヌ・ノネコ・ノヤギ対策と希少野生動植物対策の3つの観点から提言を行いました。

5 議会報告会について

●2月7日（金）夜、笠利・名瀬・住用同時開催で議会報告会が行われます。詳細は追って市議会から発信がありますので、ご注目してお待ちください。

そうへいの 一般質問レポート



一般質問は、議員が公の場で能動的に政策を提言できる、数少ない貴重な機会です！

今回の一般質問は、昨年11月に朝山市長が無投票で再選されたことを踏まえ、今後4年間で特に力を入れて取り組むべき政策は何か、また奄美市の重点課題というべき諸問題にいかに取り組んでいくのか、について議論をさせて頂きました。本来なら、選挙を通じて政策論争をすべきですが、今回はその機会が失われたので、議員として議会の場でこの議論をする必要があると考えたためです。

以下に私からの質問と、それに対する市長はじめ行政当局からの答弁、そしてそれを受けての私の意見や提案を記します。

市長の政治姿勢について

【安田】 選挙時のパンフレット「もっと一汗・さらに一汗宣言」の中には14の政策分野についての政策案がありますが、その中でも特にどの分野に力を入れたのでしょうか？

【市長】 強いて挙げれば「交流人口の拡大」「雇用の創出」「長寿子宝の島づくり」と考えています。

【安田】 3つに絞って頂き、よく理解できました。パンフレットにある「交流人口45万人」や「待機児童ゼロ」のように検証可能な数値目標を掲げることが大事なので、他の分野でもそれを設定して頂きたいと考えます。市長は、どのような市長像を目指しておられますか？

【市長】 「信頼される市長」です。【安田】 通告にない質問を致しましたが、私は「後世に感謝される市長」になつて頂きたいと思えます。目の前のことも大事ですが、中長期の視点も持ち合わせて各種政策に取り組んで頂きたいと存じます。

重点課題① 末広・港土地画整理事業

【安田】 (他議員の質問のやりとりから) 本事業の進捗状況は25年度時点の事業費ベースで約63%で、事業が難航している主な理由は玉突き移転であること商店街のため関係権利者が多岐に渡ることで、東日本大震災以降の国費からの財源確保が困難になっていること等どうかがいましたが、ではどうすればうまくいくと考えているのでしょうか？

【部長】 「早く事業を進めてほしい」という商店街からの声も多数聞いていますので、国費を奄振予算に振り替えて財源を確保し、関係権利者との信頼関係を築きながら、推進していきたいと考えます。

【安田】 本事業を推進するためには、関係権利者や市民の皆様と行政との信頼関係が何よりも大事だと思えます。そこで、市民全体に分かりやすくするため、過程や結果を「見える化」する必要があるのではないのでしょうか？

【部長】 今年度は個別の交渉に重きを置いたため、全体での説明会を開催しませんでした。今後は情報共有のために開催して参ります。また市のホームページでも情報発信して参ります。

【安田】 市のホームページでは平成19年2月時点の情報が更新されないまま掲載されていますので、早急な対応をお願いします。

重点課題② 世界自然遺産登録

【安田】 登録は早ければ2年半後ということですが、本当にそうできるのか、また本当にそうしたいのか多くの疑問があります。本市としても、まだまだすべき取り組みがたくさんあると考えますが、まずは市長の姿勢として、国内や海外の先行登録地の視察やユネスコ世界自然遺産委員会の視察について、現況はどうかでしょうか？

【市長】 現況は、視察は実現できておりませんが、今後検討します。【安田】 「世界自然遺産」というものをどのように認識しているのかを確認するために、問合わせ頂きましたが、先行登録地の真剣な姿勢や登録後の諸課題等を学ぶ必要があると思います。視察をお勧めしたいと思います。これと関連して、景観条例の制定について、進捗状況はいかがのでしょうか？

【部長】 26年度中の制定に向けて、まずはその前提となる景観計画の策定に取り組んでいます。専門の組織で策定した後、住民説明会やパブリックコメントによって周知を図るとともに市民の皆様から多くの意見を頂きたいと存じます。

【安田】 熊野古道のある和歌山では、国の法律や県の条例で規制できない部分を、各市町村が連携した条例によって自然環境や建築物を保全していますのでそれを参考に進めて頂き、また地域住民への説明も丁寧に行うよう努めてください。

また、世界遺産を見据えると、英語等外国語を話せる通訳案内士の育成・増員が必要になりますが、どのように推進する予定でしょうか？

【部長】 26年はサン・プリンセスをはじめ、外国船籍が計9回名瀬港に寄港する予定があり、通訳不足を痛感しています。国家資格である「通訳案内士」は人数が限られており、沖縄の「沖縄特別通訳案内士」という地域限定の資格を参考に、奄美においても通訳案内士の特例の適用を目指します。

【安田】 沖縄の特例は沖振法の中で定められているので、奄美でも奄振法の中で盛り込めるよう進めてください。

※これが実現できれば、職業訓練の向上や雇用の拡大、英語教育の充実につながるものと考えます。

【安田】 近年、本地域の有効求人倍率はたしかに改善して

重点課題③ 雇用の質の改善



【安田】 近年、本地域の有効求人倍率はたしかに改善して

ですが、質の改善について、安定的な雇用の拡大を図るために行政はどのような取り組みをしているのかを尋ねます。まず、市長でも担当部長でも結構ですが最近ハローワークの「求人情報」を見たことはありませんでしょうか？

【部長】 ありませんが、市が出した求人に対する求職者数の多さは感じていません。

【安田】 市役所にも置いてありますのでご覧ください。たしかに以前より求人数は多いですがパートが半分ぐらいで、フルタイムや正社員は残り半分です。介護・医療関係や建設関係は求人数が多く、一般事務・サービス業・販売員・営業等も多少はありますが、賃金は決して高くありません。これらのことを踏まえて、安倍首相が経済団体や企業に賃上げ要請を行っていますが、朝山市長も地元の団体・企業等に待遇改善の要請や意見交換をしてみたいかがでしょうか？

【市長】 首相が行っているのは景気の好影響を受けている大都市圏を中心とする団体や企業に

対してであり、現在の奄美の厳しい経済状況を踏まえれば、それは大変おこがましいと考えます。

【安田】 それも一理あるでしょうが、低賃金・賃金未払い・不当解雇・パワーハラスメント等の労働問題の相談を私も受けており、労基署に行くよりも泣き寝入りをする事例が多いということも地元新聞は報道しています。このようなことも踏まえて、ぜひ様々な観点から地元の経済団体や企業の方々と意見交換して頂きたいです。市として他に何かできることはないか考えて頂きたいと存じます。

※最後に、企業や従業員に向けて、パワーハラスメント対策やメンタルヘルス対策についての啓発・呼び掛けの取り組みに關してうかがい、一般質問を締めくくりました。

今月は、あの一、皆様にお伝えしたいことをできるだけ沢山載せたいと張り切りましたが、紙面が足りなくなり、4コマ漫画も掲載できなくなりまして、文字ばかりで読みづらくすみません・・・。



10月中旬〜12月の主な活動

- 10/12 奄美ビーチチャレンジカップ (ボランティアスタッフとして参加)
- 13 奄美ファンサミット見学@住用体験交流館 ※10月中旬から11月上旬にかけての時期は、市民の方々との相談活動をしつつ、西郷隆盛関係の歴史の勉強に取り組みました。
- 30 小学校陸上記録会見学@三儀山
- 11/1 大島地区衛生組合議会
- 9 奄美群島日本復帰60周年記念式典@奄美文化センター
- 10 維新ふるさと館歴史シンポジウム@鹿児島市 (パネリストとして参加)
- 11~12 熊本県菊池市を訪問 (歴史交流のため)
- 14 議会運営委員会 (12月定例会日程について)
- 16 奄美和光園創立70周年記念祝賀会
- 18 大和村湯湾釜集落ムチモレ踊りに参加
- 24 生命のメッセージ展見学@奄美文化センター
- 25 本庁舎建設提言特別委員会
- 28 「奄美・琉球」世界自然遺産登録推進特別委員会 (12/17も)
- 29 古田町みどり自治会設立総会
- 12/2 住用町嘱託委員会
- 3 奄美和光園将来構想に関する意見交換会
- 4 議会運営委員会 (議案・請願・陳情の取り扱いについて)、全員協議会 (新しい委員会構成等について)
- 6~8 「菊池源吾に学ぶ会」と志塾・西郷塾との交流会
- 10 12月定例会開会
- 11~13 一般質問 (12日の3番目に登壇)
- 17 本会議 (議案についての総括質疑に立ちました)
- 18 産業建設委員会審査 (今回から同委員会に所属)、笠利・住用現場視察
- 19 総務企画委員会審査に出席
- 20 家庭・資源ごみ委託収集運搬業者と市環境対策課との意見交換会
- 21 沖縄・奄美復帰交流座談会
- 25 奄美群島日本復帰記念の日
- 26 最終本会議・袖議会 (一般会計補正予算等議案11件を可決)

先

にも書きましたが
奄美群島は日本復
帰60年を経て、生活・産
業基盤や交通インフラ等
については本土と遜色の
ない程度にまで整備され
てきました。では、復帰
61年目を迎える奄美は、
これからどのような方向
を目指せばいいのでしょ
うか？

これまで積み重ねてき
たことの延長や継続とい
うことも大事ですが、そ
れを基礎として、新しい
発想やアイデアを生み
出していくことがより重
要になると、私は考えま
す。奄振に新設された、
より自由に使える「交付
金」はまさに地元の創意
工夫を促すための仕組み
でもあるからです。
本土と奄美との経済格
差について、いつまでも
その事実を指摘している

だけでは事は進みません。
ならば、地元住民の収入
を毎月5千円でも1万円
でも上げるにはどうすれ
ばいいか？を真剣に考え
なければなりません。
私はそのための一つのア



おがみ山より市街地を望む

を披露したり、郷土料理
や黒糖焼酎を振る舞った
り、宿泊施設の少ない地
域では民泊を行ったりし
て奄美の魅力をPRする
とともに、毎月5千円で
も1万円でもいいから収

日本復帰

61年目を どう迎えるか？

アイデアとして、
観光・交流分野
における副業・
副収入を提案し
たいと考えます。

例

え、国立公園・
世界自然遺産を目
指す中で確実に増大する
国内・海外からの観光客
に対して、通訳も含めて
ガイドをしたり、伝統文
化である島唄や八月踊り

入増加につなげていく。
この取り組みに多くの地
域住民が賛同・参画して
いけば、地元も観光客も
お互いに元気になること
ができるでしょう。その
ための仕組みを考えてい

くのも政治・行政の役割
でありますが、それ以上
に市民の皆様とともに活
動していくことが大事だ
と考えます。
こ
れからの奄美の経済
について、あるいは
私たちの生活について、
目指すべき方向性は「量
の拡大」よりも「質の充
実」であるように感じま
す。また、ある程度の経済
的・物質的な豊かさこそ
が、精神面でのさらなる
豊かさにもつながってい
くと思えます。身の回り
にある地域の宝を大事に
し、それを少しだけ経済
にも結び付けて懐の潤い
につなげ、自他ともに喜
びや満足を味わう姿！子
供からお年寄りまで心豊
かに過ごすことができる
「人づくりの島」を目指し
て、さらに調査・研究・実
践を積み重ねて参ります。



そうへいからの お知らせ

- 「出前報告会」
を行います！

現在、定期報告会の開催
予定はありませんが、ご要
望頂ければ出張報告にうか
がわせて頂きますので、よ
ろしくお願いいたします。



- 本チラシの「配布ボランティア」を
募集しております！
- お困りごとや奄美市へのご要望等ありま
したら、お気軽にお寄せください！
- しーまブログ、ツイッター、フェイスブックでも
活動情報発信中です！

※安田そうへい連絡先：
奄美市名瀬古田町5-7
電話：54-7621 / FAX：54-7620
Eメール：sohei@mskj.or.jp